

新環境センターニュース

Vol.10 令和6年4月発行



新環境センター建設に向けた造成工事を実施

清掃工場などの建物の配置や施設の機能を決める基本設計が、令和5(2023)年10月に完了しました。現在はさらに詳しい設計を進めながら、清掃工場などの建設に向けて必要な場内の造成工事を行っています。

清掃工場などの建設工事は、令和6(2024)年8月頃に開始する予定です。

造成工事について 第1期：令和6(2024)年1月～7月

清掃工場などの建設工事を始める前に、建設工事に必要な資材を運ぶための道路を整備したり、清掃工場などを建てるために土地を平らにならしたりする工事を行っています。

(1)搬入道路の整備

国道10号側の敷地入口から清掃工場などに行くため、今ある道路の幅を広げたり、坂をこれまでよりも緩やかになるよう整備します。(下図の○部分)

時期：令和6(2024)年1月～6月

【整備前の状況】



※道路の幅：現況約8m⇒整備後12.3～14.3m

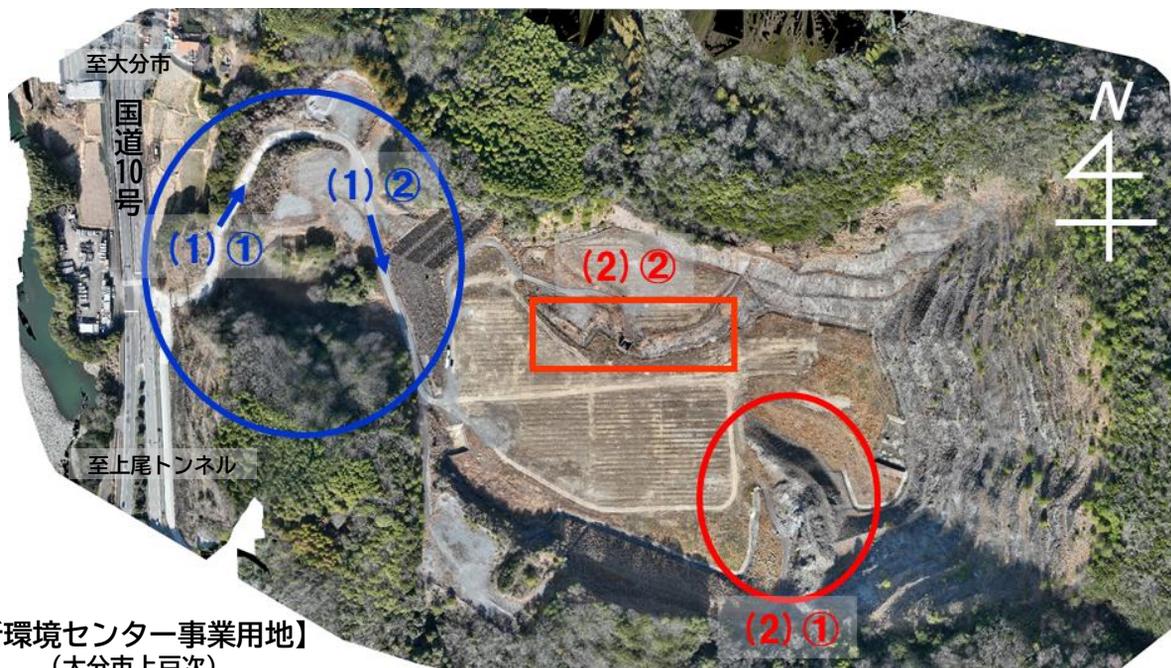
※道路勾配：現況最大16%(約9度)⇒整備後12%(約6.8度)

(2)清掃工場などの建設工事に支障となる地形の整地

①敷地南東側にある岩山の撤去(下図の○部分) ②北側高台の一部を撤去(下図の□部分)

時期：令和6(2024)年2月～5月

時期：令和6(2024)年2月～6月



【新環境センター事業用地】
(大分市上戸次)

新環境センター整備に係る事業説明会を実施

事業説明会について

新環境センターの基本設計が昨年(令和5(2023)年)10月に完了したことから、同年11月18日に臼杵市野津中央公民館、大分市大南市民センター、豊後大野市犬飼公民館の3会場で清掃工場などの建物の配置や施設の機能などを紹介する説明会を開催しました。



【野津中央公民館】



【大南市民センター】



【犬飼公民館】

Q&A

説明会参加者からの意見(一部)

- Q:建設する用地は採石場跡地で国道10号沿いにあるが、国道10号から施設が見えない現状景観のまま施設を建設して欲しい。**
- A:場所によっては大野川の対岸から施設が見えるが、国道10号からは段差があり施設は見えない。また、本事業の景観は景観審議会で審議しており、建物の色彩等にも配慮するように計画している。
- Q:新環境センター入口は、大分市方面から来ると左折、豊後大野市方面からだと右折になる。交通渋滞について国道10号との絡みもあるが何か配慮することを検討しているのか。**
- A:現在検討中であるが、入口交差点において大分市側からの車線に左折専用レーンを作れないか考えている。豊後大野市側からの右折レーンについては現在の30mから延長する方向で国交省、警察と協議している。交通量の見込みなど国交省に提示する中で意見をもらい了承されれば整備していく。
- Q:余熱利用施設(温浴施設、ウォーキングプール等)や環境啓発施設があり施設内での滞在時間も長時間になってくると想定されるが、駐車台数はどのくらいで計画しているのか。**
- A:駐車場の台数は、余熱利用施設前やイベント時多目的で利用する臨時駐車場、搬入道路中段の普通車・大型バス駐車場、従業員・関係者の駐車スペースを合わせて約700台程度を計画している。
- Q:最新の施設で大丈夫と思うが、臭いは外部に出ないのか。**
- A:臭いがあるのは主に焼却施設内の可燃ごみを投入するごみピットという箇所であるが、ごみピット内の気圧を調整して外部に臭いが漏れ出ないようにしている。また、ごみピット内の空気は、ごみを燃やす空気として利用することで臭いを燃焼分解して無くしている。



事業スケジュール

